

## ■ゼロスペック■

面に埋め込  
まれたレン

ゼロスペックスタッフ

【札幌】燃料配送効率化の実現に向けた切り札となるゼロスペック（札幌市中央区・多田満朗社長）の「スマートセンサー」は現

在、37都道府県で数百社への導入実績を誇るほど飛躍的な普及拡大を続けている。今季からは「残量測定のさらなる精度向上」を掲げ、現行品から改良を加えた新モデルの市場投入を開始した。

現行モデルでは、油の跳ね返りや寒暖差によって生じる結露などの外的要因が正確な測定を阻害することもあった。この問題を解決するためにセンサー裏

事業者の満足度や運用状況を総合的に判断し、残量管理への不安をより低減するために今回の改良へと至つた。この問題を解決格好だ。

外装は戸外での取りつけ作業へ

改良されたスマートセンサー

面でセンサー機能性・デザイン性両手にフィットする形状へと変更し

ズの電波透過性を高め、プラスチック板で遮蔽することで測定値への影響を最小限に抑えた。

新モデル開発の経緯

「現行のセンサーでもうまく活用すれば対処できるが、汚れなどが運用面で人を選んでしまう」という問題もあつた」と振り返る。導入

ルスマネージャーは、「現行のセンサーでもうまく活用すれば対処できるが、汚れなどが運用面で人を選んでしまう」という問題もあつた」と振り返る。導入



一の精度を最大限引き出せるものへと完成度を高めた。また外装部には新たにQRコードを印字するなど、データ管理や将来的な用途拡張にも柔軟に対応。スマートセンサーは従来の灯油以外にも液体計測という用途を広げ、すでに軽油や重油、エンジンオイルへの利用のほか貯水槽計測などの分野でも実証が始まっている。さらに液体計測という既存サービスの枠を抜け出した横展開を視野に今後も多種多様な業界に向け新たな価値を発信していく考えだ。

## 残量測定の精度向上へ

